

事務事業分析シート

No1

事務事業名	みどりの条例関係事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
			担当者名	井戸	内線	2761
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	みどりの条例関係費（34-15-50-01）					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業					
開始年度	● 昭和 ○ 平成 55 年度		根拠法令等	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則		
終期設定	○ 有 ● 無 年度					
実施基準	法令基準内 都基準内 <区独自基準>			計画区分	計画 <非計画>	
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野				
	政策	快適な生活環境の整備[14]				
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]				
目的	みどり豊かな街の創出のため、既存のみどりを保存するとともに、区民の緑化を啓発し、みどりへの関心を高めていく。					
対象者等	区民					
内容	○ 一定の基準を満たす樹木、樹林、生垣を保護指定するとともに、維持管理費の一部を助成して、保全を図る。 〔指定基準〕 ・保護樹木：地上1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上のもの。 ・保護樹林：樹林の一集団が占める土地の面積が300㎡以上のもの。 ・保護生垣：生垣を成す樹木の集団で、その長さが20m以上のもの。 〔助成制度〕 ・維持管理に要した費用の1/2（樹木等の規模による上限あり。一戸限度額150,000円。剪定については3年度に1回） ○ 生垣造成工事費及び生垣造成に係る塀等撤去費の1/2を助成する。ただし、防災生活圏内においては、助成の割合を3/4以内とする。（ともに上限あり） ○ 一定規模以上の開発行為等には緑化を義務付ける。 ○ 屋上緑化等、緑を増やすための普及、啓発を推進する。					
経過	【保護指定樹木】 平成10年度までは、所有者の申請に基づき区で剪定等を実施してきたが、平成11年度より所有者が維持管理に要した費用の一部を助成する方式に変更。 【生垣助成】 平成8年度より東京都の区市町村緑化事業補助金制度廃止されたため、区の助成金のみで実施。平成10年度からは、防災生活圏内において東京都からの補助金制度を活用して実施。					
必要性	区の緑被率7.30%（平成10年調査）は、23区中23位と非常に低い水準となっている。この貴重なみどりを保護し、また新たなみどりを創出することで、みどり豊かな荒川区を目指すために必要な事業である。					
実施方法	(直営) 一部委託 全部委託) (直営の場合 (常勤) 非常勤 臨時職員)					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	4,250	3,772	3,583	3,447	3,651	3,217	3,423
	①決算額（18年度は見込み）	2,461	1,801	1,722	1,838	1,725	1,592	3,423
	②人件費						6,033	
	【事務分担当】（％）						70	
	合計（①＋②）	2,461	1,801	1,722	1,838	1,725	7,625	3,423
	国（特定財源）							
	都（特定財源）	254	259	161	376	90	0	300
	その他（特定財源）							
一般財源	2,207	1,542	1,561	1,462	1,635	7,625	3,123	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	保護樹木（本）	176	193	195	191	189	185	212
	保護樹林（㎡）	7,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
	保護生垣（m）	134	134	134	134	134	134	134
	保護樹木等助成(件)	11	12	8	7	14	12	12

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	08(99)報償費					基本計画策定委員謝礼	198
	11(04)一般需要費	樹名板・その他消耗品	461	樹名板・その他消耗品	402	樹名板・その他消耗品	479
						基本計画報告書作成	492
	12(99)役務費	樹木保険	47	樹木保険	50	樹木保険	54
	19(99)負担金補助及び交付金	生垣造成助成(一般)	0	生垣造成助成(一般)	42	生垣造成助成(一般・防災)	1,350
		生垣造成助成(防災)	270	生垣造成助成(防災)	0		
		保護指定樹木等助成	947	保護指定樹木等助成	1,098	保護指定樹木等助成	840

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	保護指定樹木等助成金交付状況	129	162	174	—	平成11年度以降実績累計(本数)
②	生垣造成延長	257	262	295	—	平成11年度以降実績累計
③	緑化指導実績	6875	34587	9244	—	各年度緑化計画面積

問題点・課題	・「荒川区みどりの基本計画」の策定年次は、荒川区基本構想や都市計画マスタープランの策定に合わせて遅らせてきた結果、「緑の実態調査」の実施年次に接近することとなった。 ※緑の実態調査の実施年次：荒川区みどりの保護育成条例及び施行規則では、10年以内に実施することになっている。前回は、平成10年度に実施しているため、平成20年度までに次の調査を行う必要がある。 ・生垣造成助成の実施件数が減少傾向にある。 ・民有地の緑の保全は、たいへん厳しい状況にある。特に、保護樹木は、樹木の成長に伴う落葉や病虫害などが近隣に影響を与えており、隣接する住民からの苦情や所有者からの相談などが増えている。
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	みどりの基本計画策定に先立ち、緑の実態調査を実施する。	荒川区の緑の現況を踏まえ、実効性のある「荒川区みどりの基本計画」を策定することができる。
②	生垣助成制度の活用に関して、区報等でPRする。	生垣助成制度の活用件数を増やし、うるおいのある緑の街並みの創出に寄与することができる。
③	保護樹木等の緑の保全に関して、パンフレットや区報等でPRや啓発を行う。	保護樹木等の緑の保全に対する理解や関心を高める。

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	既存の緑の保護や緑化の啓発など、区の緑化推進に貢献する事業である。

議決(要旨)	16年3定 緑化推進計画の策定の内容と時期について 17年3定 民間における緑化推進拡大と補助金制度の導入について 18年2定 緑化推進計画の早期策定について 18年2定 緑化推進計画の必要性について
--------	---

事務事業分析シート

No1

事務事業名	都電沿線バラ植栽事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
		担当者名	井戸	内線	2761
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	都電沿線バラ植栽事業（34-31-50-01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成 60 年度		根拠	荒川区みどりの保護育成条例及び同条例施行規則	
終期設定	○ 有 ○ 無 年度		法令等	則都電荒川線及びその沿線の緑化に関する協定	
実施基準	法令基準内 都基準内		区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野			
	政策	快適な生活環境の整備[14]			
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]			
目的	荒川区のシンボルである都電荒川線の沿線をバラで包み込み、荒川区の中央を貫くみどりの軸をつくることにより、美しい景観の創出やうるおいと安らぎの提供を図る。また、区民にも都電沿線のバラへの愛着を深めてもらい、区民とともに区の観光資源として育てていく。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	・整備：都電沿線の延長約4.1km、両側にすると6.7kmの区間を整備。また、平成14年度からは、区の観光資源として充実させるため、整備効果の高い各停留所付近を重点に再整備を実施。 ・維持管理：剪定、摘実、摘雷、消毒、施肥、灌水、マルチング等の維持管理作業を、直営を主体として、年間を通じて計画的に行っている。除草、清掃は委託している。 ・区民の手による管理：「荒川バラの会」が、区との協定に基づき、三ノ輪橋電停周辺及び荒川遊園でバラの育成管理を行っている。区は、講習会（年6回）、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入等の活動支援をしている。				
経過	昭和60年度から平成3年度にかけて、「都電通りの緑化事業」として整備した。植栽場所が主に都電の軌道敷であるため、整備及び管理は、都交通局と協定を締結して行っている。緑化は、四季折々に色とりどりの花が咲くことや、見た目の華やかさ等からバラにより行われ、延長約4.1km、両側にすると6.7kmの区間に、約60種、約1万5千株のバラが植えられた。しかし、厳しい生育条件により枯れる株も多く、平成14年度からは計画的に再整備を行っている。平成14年度は三ノ輪橋電停周辺と荒川遊園、平成15年度は荒川二丁目電停付近、平成16年度は町屋駅前電停付近を整備した。 維持管理は、当初は全面民間委託であったが、平成8年度に一部を除いて直営による管理に移行した。さらに、平成15年度からは、区民の手による管理を導入し、「荒川バラの会」を発足した。その活動支援策として、平成16年度から講習会を実施している。				
必要性	都電沿線のバラは、区の中央を貫くみどりの軸として、みどりのネットワークを形成するうえで、重要な位置を占めている。また、近年は、「花の観光地づくり大賞」を受賞するなど、区の観光資源としての重要性が高まっている。				
実施方法	（直営 <u>一部委託</u> 全部委託） （直営の場合 <u>常勤</u> 非常勤 臨時職員） ◇件 名 都電沿線バラ除草・清掃委託 ◇17年度委託先 山溪緑地 ◇17決算見込額 4,068,662円				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額		18,060	17,116	24,449	12,140	11,492	10,504	10,015
①決算額（18年度は見込み）		17,305	15,779	18,876	11,844	10,764	8,766	10,015
②人件費							20,365	
【事務分担量】（%）							235	
合計（①+②）		17,305	15,779	18,876	11,844	10,764	29,131	10,015
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		17,305	15,779	18,876	11,844	10,764	29,131	10,015
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	植栽(株)			1,700	500	500	400	200

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	08(99)報償費	バラ園芸講習会謝礼	156	バラ園芸講習会謝礼	156	バラ園芸講習会謝礼	156
	11(04)一般需要費	維持管理用消耗品	1,698	維持管理用消耗品	1,458	維持管理用消耗品	1,761
		アダプトプログラム用品		アダプトプログラム用品		アダプトプログラム用品	
	12(99)役務費	塵芥処理・運搬	221	塵芥処理・運搬	160	塵芥処理・運搬	228
		ボランティア保険		ボランティア保険		ボランティア保険	
	13(99)委託料	除草・清掃委託	4,260	除草・清掃委託	3,465	除草・清掃委託	4,069
	15(99)工事請負費	都電通りバラ植栽工事	4,431	都電通りバラ植栽工事	3,528	都電通りバラ植栽工事	3,798

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	株数(株)	約12,000	約12,400	約12,600	13,400	
②	「荒川バラの会」会員数	32名	41名	46名	70名	
③	満足度（株数・規模等）	—	62.5%	—	80%	「満足」及び「やや満足」の割合（区政世論調査）

問題点・課題	・「花の観光地づくり大賞」にふさわしい区の観光資源としてのレベルを保持していくためには、維持管理をさらに充実させる必要がある。 ・軌道敷はたいへん厳しい環境条件にあり、十分な植栽基盤が確保できない区間はプランターで対応しているが、地植えに比べて生育状況が悪い。 ・補助90号線の整備に伴って、今後、植栽スペースが狭くなることが懸念されている。
他区の状況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	灌水や消毒などの比較的単純な作業を委託化することによって、直営による維持管理作業の回数を増やす。	花がら摘みや施肥などをきめ細かく行うことができ、バラの良好な生育と美観の向上が期待できる。
②	プランターに植栽したバラは、根づまりによって生育が悪化するため、順次、土を入れ替えて生育の活性化を図る。	町屋駅前～熊野前間のバラの生育を良好にし、美しい沿線の景観を形成できる。
③	建設局、交通局との協議により、植栽スペースを確保する。	区の観光資源としての規模を確保する。

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	区民の満足度も高く、観光の視点からも重要な事業である。

議会（要旨）	14年2定 バラの補植について 14年3定 観光資源としてPRについて 18年1定 バラ植栽の推進について
--------	---

事務事業分析シート

No1

事務事業名	公衆便所管理事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土					
			担当者名	大野	内線	2757					
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	維持費（公衆便所管理費）（34-35-33-01）										
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業										
開始年度	○ 昭和 ○ 平成 年度		根拠法令等	地方自治法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区立公衆便所に関する条例							
終期設定	○ 有 ● 無 年度										
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>			計画区分	計画 <u>非計画</u>						
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境									
	政策	快適な生活環境の整備[14]									
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]									
目的	公園及び公衆便所利用者の快適性を保つため、公衆便所を清潔に維持する。										
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人										
内容	・ 公衆便所の概要 35箇所（別紙公衆便所一覧参照）										
	・ 業務内容										
	<table border="1"> <tr> <td>業務内容</td> <td>数 量</td> </tr> <tr> <td>清掃</td> <td>2回／日 6ヵ所（日暮里駅東口・日暮里駅西口・南千住駅ガード下・南千住一丁目・西日暮里駅前・ドナウ広場） 1回／日 29ヵ所</td> </tr> <tr> <td>修繕</td> <td>適 宜</td> </tr> </table>						業務内容	数 量	清掃	2回／日 6ヵ所（日暮里駅東口・日暮里駅西口・南千住駅ガード下・南千住一丁目・西日暮里駅前・ドナウ広場） 1回／日 29ヵ所	修繕
業務内容	数 量										
清掃	2回／日 6ヵ所（日暮里駅東口・日暮里駅西口・南千住駅ガード下・南千住一丁目・西日暮里駅前・ドナウ広場） 1回／日 29ヵ所										
修繕	適 宜										
経過	・ 平成15年度より小規模補修は公園管理事務所で対応										
必要性	公衆便所を清潔・快適に保っていくために清掃等の維持管理は不可欠である。										
実施方法	（直営 <u>一部委託</u> 全部委託） （直営の場合 <u>常勤</u> 非常勤 臨時職員）										
	清掃委託 便所清掃（1） 17年度委託先：関東工業㈱ 17年度予算額：12,094,725円										

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	14,983	14,097	15,855	17,100	17,066	17,066	17,066
①決算額（18年度は見込み）	13,664	13,237	14,939	15,251	15,022	14,716	16,902
②人件費						7,326	
【事務分担量】（％）						85	
合計（①＋②）	13,664	13,237	14,939	15,251	15,022	22,042	16,902
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）							
一般財源	13,664	13,237	14,939	15,251	15,022	22,042	16,902
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	11(01)光	電気・水道料	2,895	電気・水道料	3,330	電気・水道料	3,330
	11(04)一	水・電気施設修繕	89	水・電気施設修繕	1,641	水・電気施設修繕	1,477
	13(99)委	清掃委託	11,249	清掃委託	12,095	清掃委託	12,095

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	満足度		—	29.70%	—	50%	区政世論調査
②							
③							

問題点・課題	建築年月の古い便所は、経年劣化による老朽化が進んでいる。					
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）					

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	現状の清掃回数では清潔・快適性を保てないため、清掃回数を見直す。	利用頻度の高い便所の清潔・快適性が保てる。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	公衆便所の管理は、直接区民の利用に影響することから適正に実施しなければならない。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	公衆便所新設改良事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土	
			担当者名	杉山	内線	2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	新設改良費（公衆便所管理費）（34-35-66-01）						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ● 建設事業 ○ それ以外の継続事業						
開始年度	● 昭和 ○ 平成 39 年度		根拠法令等	地方自治法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
終期設定	○ 有 ● 無 年度		荒川区立公衆便所条例				
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画 非計画			
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境					
	政策	快適な生活環境の整備[14]					
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]					
目的	公衆便所を適正に配置し、区民が気軽に利用できるような清潔で快適な便所に整備、改善する。						
対象者等	区民および荒川区を訪れる人						
内容	- 公衆便所新設…新たに設置 - 公衆便所改良…老朽化した便所の撤去・新設 - 公衆便所改修…部分的な改修、塗装等						
経過	- 昭和42年10月、公園課新設と同時に公園課へ移管となる。（以前は区民課の管理） - 荒川区公衆便所設置基準の制定。（平成8年2月） アメニティトイレの整備 目的・内容…公衆便所及び公園便所について、機能の向上やデザイン等に配慮した質の高い整備を行い、区民が気軽に利用できるような清潔でかつ快適な施設とした。 経緯…昭和63年度から荒川区実施計画として始まり、毎年1箇所を標準として平成5年度までに7箇所を整備した。						
必要性	- 生活環境の保全及び公衆衛生の向上の観点から不可欠な施設である。 - 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に、必要な場所に公衆便所を設けて衛生的に維持管理することを義務づけている。						
実施方法	（直営 一部委託 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 請負工事により実施						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	6,179	1,761	6,440	471	6,168	471	471
	①決算額（18年度は見込み）	6,010	1,739	5,240	398	4,972	286	471
	②人件費						861	
	【事務分担量】（％）						10	
	合計（①＋②）	6,010	1,739	5,240	398	4,972	1,147	471
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
一般財源	6,010	1,739	5,240	398	4,972	1,147	471	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	公衆便所改修	1		1		1	0	0
	公衆便所塗装	1	1	1	1	1	1	1

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費	建物塗装	436	建物塗装	286	建物塗装	471
		改築工事（東尾久上児童）	4,972				

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値（22年度）	
①	公衆便所設置累計（箇所）	35	35	35		
②	設置後25年を経過した公衆便所の改修率（％）	0/11 =0	1/11 =9	1/11 =9	50	改良済みの数／設置後25年以上経った公衆便所の数
③						

問題点・課題	・高齢者、身体障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例（東京都平成16年7月）の施行により、今後建設する便所は、身障者対応便所としなければならない。 ・公衆便所35箇所のうち、設置後25年以上経っているものが11箇所と3割近くを占めており、施設の老朽化が進んでいる。
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	計画的な改修に取り組む	着実な改修により、便所の快適性を高められる
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	公衆便所の清潔で快適な便所に整備・改善することは必要な事業である。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	区民農園事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土																					
			担当者名	井戸	内線	2761																					
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	区民農園事業費（34-45-50-01）																										
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業																										
開始年度	○ 昭和 ● 平成 4 年度		根拠	荒川区区民農園運営要綱																							
終期設定	○ 有 ● 無 年度		法令等																								
実施基準	法令基準内 都基準内 (区独自基準)			計画区分	計画	(非計画)																					
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野																									
	政策	快適な生活環境の整備[14]																									
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]																									
目的	・ 自然に親しむ機会の少ない区民が土と親しみ、収穫の喜びを味わうことのできる場所を提供する。また、みどり豊かなまちづくりのために、農作業を通してみどりとふれあう事で、区民一人ひとりの緑化意識や知識等を高めることを目的とする。																										
対象者等	・ 区内に在住している世帯かつ農園芸に熱意のある世帯																										
内容	・ 足立区内の農地を無償で借用し、区民農園として開設している。 ・ 第一区民農園・第二区民農園の2箇所あり、一区画は約12㎡で使用料は4,700円（1年）である。利用期間については、第一農園は2年間、第二農園は1年間としている。 ・ 毎年12月の区報で利用者を募集し、応募者が区画数を越えた場合は公開抽選を行っている。																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>所在地</th> <th>総面積</th> <th>区画数</th> <th>有料区画</th> <th>減免区画</th> <th>使用年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一農園</td> <td>足立区扇 1</td> <td>1,177.62 ㎡</td> <td>8 0 区画</td> <td>7 8 区画</td> <td>2 区画</td> <td>2 年</td> </tr> <tr> <td>第二農園</td> <td>足立区扇 2</td> <td>1,050.00 ㎡</td> <td>5 4 区画</td> <td>5 2 区画</td> <td>2 区画</td> <td>1 年</td> </tr> </tbody> </table>							名称	所在地	総面積	区画数	有料区画	減免区画	使用年数	第一農園	足立区扇 1	1,177.62 ㎡	8 0 区画	7 8 区画	2 区画	2 年	第二農園	足立区扇 2	1,050.00 ㎡	5 4 区画	5 2 区画	2 区画
名称	所在地	総面積	区画数	有料区画	減免区画	使用年数																					
第一農園	足立区扇 1	1,177.62 ㎡	8 0 区画	7 8 区画	2 区画	2 年																					
第二農園	足立区扇 2	1,050.00 ㎡	5 4 区画	5 2 区画	2 区画	1 年																					
経過	◇平成4年度より事業化され、当初、地域振興部区民課が所管していた。 ◇平成5年度より、公園緑地課の所管となる。 ◇平成10年度より、区民農園の利用料金を改定した。 3,000円→3,600円（1年につき） ◇平成12年度より、区民農園の利用料金を改定した。 3,600円→4,700円（1年につき） ◇平成13年1月31日付で、第二区民農園の敷地のうち、1,149㎡を地主に返還することとなった。これに伴い、区画数が95区画減となった。（第二区民農園有料区画 126区画） ◇平成17年2月末日をもって、「区民農園休息所及び農具置場」を地主に返還した。 ◇平成17年12月末日をもって、第2区民農園のうち、1,233㎡(a区域)を地主に返還した。																										
必要性	第一農園、第二農園とも区画数を上回る応募が続いており、人気の高い事業である。また、植物を育てる楽しさや収穫の喜びを体験することを通じて、区民のみどりへの意識や知識等を高める効果がある。																										
実施方法	(直営 (一部委託) 全部委託) (直営の場合 (常勤) 非常勤 臨時職員)																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>件名</th> <th>17委託先</th> <th>17決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>便所清掃委託</td> <td>関東興業</td> <td>57,546</td> </tr> </tbody> </table>						件名	17委託先	17決算額(円)	便所清掃委託	関東興業	57,546															
件名	17委託先	17決算額(円)																									
便所清掃委託	関東興業	57,546																									

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	3,246	1,926	1,858	1,779	1,776	6,657	9,087
	①決算額（18年度は見込み）	3,166	1,814	1,728	1,679	1,666	3,977	9,087
	②人件費						8,188	
	【事務分担量】（％）						95	
	合計（①＋②）	3,166	1,814	1,728	1,679	1,666	12,165	9,087
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）	959	959	959	959	928	616	611
一般財源	2,207	855	769	720	738	11,549	8,476	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	区画数計	301	209	209	209	209	209	189
	第一農園	80	80	80	80	80	80	80
	第二農園	221	129	129	129	129	129	54
	第三農園							55

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	08(99)報償費	区民農園管理指導料	720	区民農園管理指導料	660	区民農園管理指導料	480
	11(01)光熱水費	電気料金・水道料金	178	電気料金・水道料金	80	電気料金・水道料金	163
	11(04)一般需要費	消耗品	47	消耗品	92	消耗品	136
	12(99)役務費	塵芥処分・運搬、除草、	334	塵芥処分・運搬、除	248	塵芥処分・運搬、除	364
	13(99)委託料	便所清掃委託	58	便所清掃委託	30	便所清掃委託	60
	14(99)使用料及び賃借料	休憩及び農機具置場賃	330	休憩及び農機具置場	0	休憩及び農機具置場	0
	15(99)工事請負費			復旧工事	2,867	造成工事	7,884

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	抽選倍率（第一農園）	—	4.25	—	—	農園応募者数／区画数
②	抽選倍率（第二農園）	3.67	1.83	—	—	農園応募者数／区画数
③	抽選倍率（第三農園）	—	—	3.92	—	農園応募者数／区画数

問題点・課題	・日暮里舎人線の整備により、現在借用している区民農園の返還が促進される可能性がある。
他区の状況	（実施 11 区 未実施 11 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	足立区と連携して、用地情報の収集に努める。	新たな区民農園用地を確保する。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	区民農園は人気が高く、利用者に喜ばれている事業なため、着実に進める必要がある。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	区民主体の街なか花壇づくり事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
			担当者名	井戸	内線	2761
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	区民主体の街なか花壇づくり事業費（34-50-50-01）					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業					
開始年度	○ 昭和 ● 平成 13 年度		根拠			
終期設定	○ 有 ● 無 年度		法令等			
実施基準	法令基準内 都基準内 (区独自基準)			計画区分	(計画) 非計画	
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野				
	政策	快適な生活環境の整備[14]				
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]				
目的	・ 緑の少ない荒川区に花と緑の空間を創出していくために、区民が主体となって花壇づくりを行う。 ・ 街の環境美化と区民同士のコミュニティの向上を図る。					
対象者等	・ 公募による申込み ・ 地元町会 ・ サークル等					
内容	・ 町会やグループなどの団体が自主的に行う花壇づくりを支援し、花のまちづくりを進める。 ・ 区民が主体となって、草花の植え付けやその後の水やり・除草等を行う。 ・ 花壇は、区が借り受けた用地に整備したり、大型のプランター（貸し出し）等により行う。 ・ 活動団体と協定書を結び、区は、花苗の支給、道具類の支給・貸与、ボランティア保険の加入等の活動支援をする。					
経過	【平成12年度】 モデルケースとして、荒川一丁目（千住間道）の都市計画道路残地内を借り上げて、花の植え付け教室を開催し、地元で管理。 【平成13年度】 花壇造成1カ所（荒川三丁目街なか花壇） 自主管理花壇1ヶ所（荒川一丁目街なか花壇） 【平成14年度】 花壇造成1カ所（東尾久六丁目街なか花壇） 自主管理花壇3ヶ所（荒川一丁目、荒川三丁目、西日暮里五丁目街なか花壇） 【平成15年度】 自主管理花壇5ヶ所（荒川一丁目、荒川三丁目、西日暮里五丁目、東尾久六丁目、南千住八丁目、南千住八丁目第二街なか花壇）※荒川一丁目街なか花壇は、下水道工事のため休止 【平成16年度】 自主管理花壇5ヶ所（荒川三丁目、西日暮里五丁目、東尾久六丁目、南千住八丁目、南千住八丁目第二街なか花壇）					
必要性	緑が少ない荒川区の中で、花や緑に囲まれた街並みを形成するためには、区民が自分の暮らす街への愛着を高め、自らが維持管理する花づくりに取り組むことが重要である。また、そのためには、区が花や緑とのふれあいの場を提供し、活動を支援する必要がある。					
実施方法	(直営) 一部委託 全部委託) (直営の場合 (常勤) 非常勤 臨時職員)					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額		405	405	397	401	385	19,550
	①決算額（18年度は見込み）		392	371	146	88	316	19,550
	②人件費						1,724	
	【事務分担量】（％）						20	
	合計（①＋②）	0	392	371	146	88	2,040	19,550
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
一般財源	0	392	371	146	88	2,040	19,550	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	造成		1	1	0	0	1	1
	自主管理花壇数		1	3	5	5	6	67

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	11(04)一般需用費	花壇用草花苗等	85	花壇用草花苗等	103	花壇用草花苗等	10,000
	12(99)役務費	ボランティア保険	3	ボランティア保険	3	ボランティア保険	128
	13(99)委託料					街なか花壇づくり作業委託	9,180
	15(99)工事請負費	花壇造成工事	0	花壇造成工事	210	花壇造成工事	242

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移			目標値 (22年度)	指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度		
①	町会等管理花壇の数		0	0	15	117	目標値は全町会数
②							
③							

問題点・課題	・花いっぱいのもちづくりを進める上で、町会や商店街等を対象として、できるだけ多くの団体の参加が必要となるが、参加意欲をしめず団体が少ない。 ・花壇の設置箇所によっては、関係機関との調整が難しい。					
他区の実施状況	（実施区 未実施区）					

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	町会や商店街等へのPRに努める。	団体の参加意欲を高める。
②	事業目的を説明し、協力を得られるように努める。	花壇設置の条件が整えられ、参加が促進される。
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
A	区民と協働して花いっぱいのもちづくりを進めるための重要な事業である。

議会（要質問状況）	18年2定 花いっぱいのもちづくりの推進について
-----------	--------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	花の公園整備事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
			担当者名	井戸	内線	2761
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	花の公園整備事業（34-51-50-01）					
事務事業の種類	☒ 新規事業（ ☐ 19年度 ☒ 18年度） ☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業					
開始年度	☐ 昭和 ☒ 平成 18 年度		根拠	都市公園法		
終期設定	☐ 有 ☒ 無 年度		法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
実施基準	法令基準内 都基準内 <u>区独自基準</u>		計画区分	<u>計画</u> 非計画		
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野				
	政策	快適な生活環境の整備[14]				
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]				
目的	庁舎前の区民の憩いの場である荒川公園を花あふれる公園として整備する。					
対象者等	区民、来庁者					
内容	・整備：荒川公園の花壇やプランターを増設し、花の公園にふさわしいボリュームを確保する。 ・花壇管理：年間を通じて花が観賞できるように、花壇・プランターの植替え等の維持管理を行う。					
経過	平成5年度、「花の公園」として荒川二丁目南公園が整備された。これは、平成4年度から5年度にかけて行われた「花あふれるまちづくり」の拠点として、「モデル花壇」や「花のスポット」とともにつくられたものである。これらは、区民による花づくりのモデルとなることを目指したが、平成15年度からは他の公園の花壇と一元的に管理している。 一方、平成13年度から始めた「区民主体の街なか花壇づくり」は、平成18年度から町会等を単位として区全的に拡大していく予定であり、花のまちづくりの新たな拠点として、荒川公園の花壇の充実を検討した。					
必要性	全区的な花のまちづくりを進める拠点として、シンボリックな公園が必要である。					
実施方法	（直営 一部委託 <u>全部委託</u> ） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額							16,408
①決算額（18年度は見込み）							16,408
②人件費							
【事務分担量】（％）							
合計（①＋②）	0	0	0	0	0	0	16,408
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）							
一般財源	0	0	0	0	0	0	16,408
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	11(04)一般需要費					プランター購入	1,415
	13(99)委託料					花壇維持管理委託	8,665
	15(99)工事請負費					花壇整備工事	6,328

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	花壇面積 (㎡)		73	73	154		花壇＋プランター
②							
③							

問題点・課題	
他区の状況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
A	花いっぱいのもちづくりのモデルとなる重要な事業である。

議会 （要旨） 質問状況	18年2定 花いっぱいの街づくりの推進について
--------------------	-------------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	公園管理事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
		担当者名	大野	内線	2757
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	公園管理費（34-55-50-01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	● 昭和 ○ 平成	32 年度	根拠法令等	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則	
終期設定	○ 有 ● 無	年度		荒川区立荒川自然公園条例及び同条例施行規則	
実施基準	法令基準内	都基準内	（区独自基準）	計画区分	計画（非計画）
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野			
	政策	快適な生活環境の整備[14]			
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]			
目的	・ 区民が利用する公園施設を安全・快適・清潔に維持する。				
対象者等	・ 区民及び荒川区を訪れる人				
内容	□ 区立公園の概要 31 公園（荒川遊園を除く） □ 総面積 144,424.93 m²（荒川遊園 面積 50,840.69m²を除く）（別紙：区立公園一覧参照） [業務内容] 広場の清掃・樹木の剪定・遊具の安全点検及び修繕・電気施設の保持・その他施設の維持				
経過	□ 平成13年度より、清掃業務は4箇所が週6日に、その他は週3日に見直された。 □ 平成15年度より、モデル花壇維持費の事業廃止に伴い、本事業に花壇維持管理委託を組替した。 □ 平成15年度より、グリーンサポーターの試行を実施。 □ 平成15年度より、清掃業務は週5日が3箇所、週3日が15箇所、週2日が10箇所に見直された。 □ 平成16年度より、夜間巡回業務を実施。（危機管理対策室に執行委任・17年度より、地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。 □ 平成18年度より、清掃業務は週6日が1箇所、週5日が2箇所、週3日が17箇所、週2日が9箇所に見直された。				
必要性	区民が安心して利用できる衛生的で安全な公園を提供するため				
実施方法	（直営 一部委託 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	227,353	217,695	207,320	217,773	209,181	191,578	200,099
	①決算額（18年度は見込み）	207,175	202,253	190,248	190,693	174,183	151,809	193,515
	②人件費						60,384	
	【事務分担量】（％）						990	
	合計（①＋②）	207,175	202,253	190,248	190,693	174,183	212,193	193,515
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
その他（特定財源）	12,843	13,875	14,148	13,722	18,267	18,316	11,001	
一般財源	194,332	188,378	176,100	176,971	155,916	193,877	182,514	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	公園数(園)	31	31	31	31	31	31	32
	公園面積(㎡)	180,098	180,098	180,098	180,098	180,278	180,278	195,316
	グリーンサポーター							

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	01 (99) 報酬	清掃委託（一般公開・	3,816	清掃委託（一般公	3,812	清掃委託（一般公	3,998
	08 (99) 報償費	公園連絡員謝礼	662	公園連絡員謝礼	672	公園連絡員謝礼	696
	11 (01) 光熱水費	電気・水道料金	39,633	電気・水道料金	49,105	電気・水道料金	49,335
	11 (04) 一般需要費	消耗品・家屋修繕料	10,112	消耗品・家屋修繕料	12,994	消耗品・家屋修繕料	12,888
	12 (99) 役務費	塵芥収集、運搬、処	9,700	塵芥収集、運搬、処	11,985	塵芥収集、運搬、処	13,365
	13 (99) 委託費	清掃委託（一般公開・	107,853	清掃委託（一般公	117,291	清掃委託（一般公	121,517
	16 (99) 原材料費	公園維持管理用材料	1,832	公園維持管理用材料	1,853	公園維持管理用材料	1,910

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	満足度（公園の清潔・安全）	—	29.70%	—	50%	区政世論調査
②						
③						

問題点・課題	・ 汐入地区に新設される瑞光橋公園は、水辺のある公園として新たな視点からの管理が必要である。 ・ 犬の放し飼い、猫・鳩へのえさやりに対する苦情が多くなっている。
他区の状況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	・ 平成18年6月より開設した瑞光橋公園は、区内で初めて水辺を取り入れた公園である。入江が隅田川と繋がり、オイルフェンスを張っていても、川のゴミが干満の差により取り残されるため、18年度に新たな改善策を検討し、19年度より実施する。	・ 平成19年度より、入江の周辺の清掃委託を実施し、公園利用者に良いイメージを提供する。
②	・ 区民に対して区報及びホームページにより、犬の放し飼い、猫・鳩への餌やり等禁止の啓発に努める。	・ 区民が安心して公園を利用できる。
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	公園の管理は、直接区民の利用に影響することから適正に実施しなければならない。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	児童遊園管理事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土																		
			担当者名	大野	内線	2757																		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	児童遊園管理費（34-60-50-01）																							
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業																							
開始年度	● 昭和 ○ 平成 39 年度		根拠法令等	荒川区立児童遊園条例																				
終期設定	○ 有 ● 無 年度																							
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	計画	（非計画）																		
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野																						
	政策	快適な生活環境の整備[14]																						
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]																						
目的	・ 児童が利用する児童遊園等の施設を安全・快適・清潔に維持する。																							
対象者等	・ 小学校区を単位とした地域住民で、主に児童																							
内容	区立児童遊園等の概要（詳細は別紙参照） 業務内容 ・ 広場の清掃 ・ 樹木の剪定 ・ 遊具の安全点検及び修繕 ・ 電気施設の保守 ・ その他施設の維持 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>箇所数</th> <th>総面積（㎡）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童遊園</td> <td>70</td> <td>32,735.37</td> </tr> <tr> <td>広場・遊び場</td> <td>4</td> <td>7,118.18</td> </tr> <tr> <td>グリーンスポット</td> <td>9</td> <td>1,563.30</td> </tr> <tr> <td>緑地</td> <td>4</td> <td>1,619.08</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>87</td> <td>43,035.93</td> </tr> </tbody> </table>							箇所数	総面積（㎡）	児童遊園	70	32,735.37	広場・遊び場	4	7,118.18	グリーンスポット	9	1,563.30	緑地	4	1,619.08	計	87	43,035.93
	箇所数	総面積（㎡）																						
児童遊園	70	32,735.37																						
広場・遊び場	4	7,118.18																						
グリーンスポット	9	1,563.30																						
緑地	4	1,619.08																						
計	87	43,035.93																						
経過	・ 平成7年度より、清掃業務は全箇所週6日から週3日に見直された。 ・ 平成15年度より、区の木「サクラ」及び緑地の維持管理業務が都電通り等緑地維持管理業務から本事業に組替された。 ・ 平成15年度より、清掃業務は週5日が1箇所（三ノ輪橋広場：都電通り緑地維持管理業務から組替）、週3日が週18箇所、週2日が週56箇所、週1日5箇所、週0日が2箇所に見直しされた。 ・ 平成15年度より、区の木「サクラ」及び緑地維持管理業務が都電通り等緑地維持管理業務に組替された。 ・ 平成17年度より、地域防犯のための照明器具の清掃及び電球の交換を実施。																							
必要性	区民が安心して利用できる衛生的で安全な児童遊園を提供するため																							
実施方法	直営（一部委託） 全部委託（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）																							

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	43,681	41,783	41,530	41,859	42,910	43,429	42,669
①決算額（18年度は見込み）	42,641	40,397	39,956	37,297	37,875	33,238	41,739
②人件費						50,852	
【事務分担量】（%）						590	
合計（①+②）	42,641	40,397	39,956	37,297	37,875	84,090	41,739
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）							
一般財源	42,641	40,397	39,956	37,297	37,875	84,090	41,739
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	児童遊園数(園)	67	67	67	69	70	70
	児童遊園面積(㎡)	30,596	31,050	31,050	32,264	32,735	32,735

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	80(99)報償費	公園連絡員謝礼	1,656	公園連絡員謝礼	1,728	公園連絡員謝礼	1,728
	11(01)光熱水費	電気、水道料金	4,440	電気、水道料金	5,239	電気、水道料金	5,239
	11(04)一般需要費	消耗品費	3,504	消耗品費	5,036	消耗品費	4,876
	12(99)役務費	塵芥収集、運搬、処理	7,936	塵芥収集、運搬、処理	9,302	塵芥収集、運搬、処理	9,715
	13(99)委託料	清掃委託	17,553	清掃委託	19,017	清掃委託	18,680
	14(99)使用料及び賃借料	児童遊園用地賃借料	1,258	児童遊園用地賃借料	1,258	児童遊園用地賃借料	1,258
	16(99)原材料費	維持管理用原材料費	1,356	維持管理用原材料費	1,372	維持管理用原材料費	1,410

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(22年度)	
①	満足度(児童遊園の清潔・安全)	—	29.70%	—	50%	区政世論調査
②						
③						

問題点・課題	- 近年、特定地域にホームレスが多く住み着き、快適な児童遊園利用が阻害されている。 - 老朽化した設備の改修が必要である。
他区の状況	(実施 22 区 未実施 区)

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	児童遊園の管理は、直接区民の利用に影響することから適正に実施しなければならない。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	荒川遊園管理運営事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
			担当者名	大島	内線	2751
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	荒川遊園管理費（34-65-20-01）、荒川遊園運営費（34-65-40-01）、地下駐車場運営費（34-65-80-01）					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業					
開始年度	● 昭和 ○ 平成 25 年度		根拠	都市公園法		
終期設定	○ 有 ● 無 年度		法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
実施基準	法令基準内 都基準内 (区独自基準)			計画区分	計画 (非計画)	
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境分野				
	政策	快適な生活環境の整備[14]				
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]				
目的	区民が安全、安心して憩え、文化及びレクリエーション活動の振興に資する。					
対象者等	小学校低学年の子どもを持つファミリー層を対象					
内容	【荒川遊園の概要】 □総面積50,857㎡ □A地区…31,482㎡（①のりもの広場②どうぶつ広場③釣堀④ふれあいハウス⑤売店2店舗⑥アリスの広場⑦水遊びの広場） □B地区…5,234㎡（子どもプール・キッズランド） □C地区…14,141㎡（遊園運動場） 【事業の内容】 □区の業務…財産管理・公園占用許可事務・運動場の受付、使用料徴収事務（社会体育課に執行委任） □荒川区地域振興公社（指定管理者）の業務…公共料金の支払・施設の保守及び修繕・使用料徴収事務・施設の維持管理、運営業務					
経過	□平成12年4月…スポーツハウスとスポーツセンターの運動施設の一元化に伴い、予算執行体制の整備を行い、上記事業内容の執行となる。 □平成15年4月…クラフトハウス廃止→ふれあいハウスに名称変更（運営：子ども支援財団） □平成16年4月…入園料改定（160円→200円） □平成18年4月…指定管理者制度導入					
必要性	23区で唯一の区立遊園地である荒川遊園は、幅広い区民各層の利用に応え、公共の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的に設置された。そのため、有料公園部分ののりもの広場やどうぶつ広場等と、子供プール・運動場・一般公園部分等の適正な管理運営を行う必要がある。					
実施方法	（直営 一部委託 (全部委託)） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 1 遊園全体の管理運営に係る部分・・・指定管理者（荒川区地域振興公社） 2 遊戯施設等の運営に係る部分・・・設置管理許可（荒川区地域振興公社）					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額		181,416	172,573	160,073	97,235	107,824	112,371	90,226
①決算額（18年度は見込み）		167,602	161,153	150,951	91,933	102,342	101,419	79,330
②人件費							2,586	
【事務分担量】（%）							30	
合計（①+②）		167,602	161,153	150,951	91,933	102,342	104,005	79,330
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）		53,079	55,766	58,249	57,465	67,654	67,558	19,031
一般財源		114,523	105,387	92,702	34,468	34,688	36,447	60,299
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	入園者数(総数[人])	402,289	435,261	448,904	475,904	422,566	449,965	480,000
	子供プール(人)	19,089	11,903	17,768	11,908	20,330	20,947	22,000
	遊戯施設利用者数(千人)	1,171	1,305	1,277	1,422	1,454	1,555	1,600
	釣堀(人)	31,705	34,452	33,741	38,027	34,513	33,248	34,000

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	光熱水費	電気、水道料金	30,178	電気、水道料金	34,800	グラウンド整備用水道料	88
	一般需要費	消耗品購入、隅田川水質浄化設備等修繕	18,968	消耗品購入、隅田川水質浄化設備等修繕	17,383	50万円を超える修繕費	6,599
	役務費	排水設備水質検査	1,467	排水設備水質検査	1,850		
	委託料	浄化施設等設備保守管理委託	46,081	浄化施設等設備保守管理委託	39,862	指定管理者管理運営費	83,539
	使用料及び賃借料負担金補助及び交付金	レジスター等リース代	5,565	レジスター等リース代	5,741		
	公課費	印紙代	83	印紙代	82		

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値（22年度）	
指標	①	入園者数（人）	422566	449965	480000	500000	年間入園者総数
	②	入園者1人当りの経費（円）	242	225	188	180	決算総額/年間入園者総数
	③						

問題点・課題	☐ 指定管理者制度への導入に伴い指定管理者に対する適切な指導が必要である。
他区の状況	（実施 0 区 未実施 22 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	提案内容の実施状況について適切な評価を行い、施設の維持や運営に反映させる。	適切な管理を担保する。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	荒川遊園は、区の顔として、適切な運営の管理を行う必要がある。

議会（要旨）質問状況	16年3定 荒川遊園の見直し内容について
------------	----------------------

事務事業分析シート

No1

事務事業名	公園新設拡充事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
			担当者名	杉山	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	公園新設改良費（34-75-10-01）					
事務事業の種類	☐ 新規事業（ ☐ 19年度 ☐ 18年度） ☒ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業					
開始年度	☐ 昭和 ☒ 平成 14 年度		根拠法令等	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
終期設定	☐ 有 ☐ 無 年度			荒川区立荒川自然公園条例及び施行規則		
実施基準	☒ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☐ 区独自基準			計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画	
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境				
	政策	快適な生活環境の整備[14]				
	施策	豊かな生活環境づくり[14-01]				
目的	様々な機能を担うみどりの拠点となる公園や地域における身近なみどりの核となる公園を適正に配置する。					
対象者等	区民および荒川区を訪れる人					
内容	- 整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、公園面積の拡充を図る。 - 事業の推進にあたっては、さまざまな事業手法の導入を図っていく。					
経過	平成2年3月「荒川区みどりの基本計画」において、一人あたり3㎡の目標や公園種別の整備目標を明確化し、整備を進めている。					
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は41.6haと増加したが、まだ少ない状況にあり、目標である54haを確保するために、公園面積の拡充に向けて積極的に取り組まなければならない。					
実施方法	（直営 ☒ 部委託 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） - 公園の設計は直営または委託による - 工事は請負工事による					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額			9,000	16,330	4,470	27,330	389,107
①決算額（18年度は見込み）			6,825	0	4,097	17,535	389,107
②人件費						6,895	
【事務分担量】（%）						80	
合計（①＋②）	0	0	6,825	0	4,097	24,430	389,107
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）			6,000	0			389,000
一般財源	0	0	825	0	4,097	24,430	107
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
					0	1	1
					0	1	1
			1		0	0	0

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	13(99)委託料			基本計画作成委託	6,559	公園基本・実施設計	4,732
	14(99)使用料及び賃借料	建設機械賃貸借料	731				
	15(99)工事請負費			(仮称)瑞光橋公園新	20,771	公園新設工事	38,640
	16(99)原材料費	クラッシュラン外	3,366				
	17(99)公有財産購入費					公園用地取得費	345,735

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	公園・児童遊園面積(ha)		27.4	27.5	41.6	54.0	
②							
③							

問題点・課題	公園面積は区全体として不足しており、また地域的にも偏在している。
他区の状況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	管理部と連携して、適地の取得に努める	各地域の一人あたり公園・児童遊園面積が平均して拡充する
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	緑の拠点となる公園の整備は、緑の量的な拡充に直接結ぶつくものである。

議会 (要旨)	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	公園改良事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
		担当者名	杉山	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	改良費（公園新設改良費）（34-75-50-01）				
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	○ 昭和 ● 平成 10 年度	根拠法令等	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則		
終期設定	○ 有 ● 無 年度	荒川区立荒川自然公園条例及び施行規則			
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境			
	政策	快適な生活環境の整備			
	施策	豊かな生活環境づくり			
目的	段差解消、水飲みの改修等のバリアフリー化やその他の部分改修を行ない、公園の安全性や快適性、利便性の向上を図る。				
対象者等	区民及び荒川区を訪れる人				
内容	公園の改良及び改修工事を行う。 【改良工事】 - 福祉の街づくり等に配慮した入口、車止め等の管理施設工事 - 緑陰等に配慮した植栽等の修景施設工事 - 利用年齢層に配慮した広場や遊戯施設工事 - その他水飲等の便益施設、ベンチ等の休養施設ほか、さまざまな施設工事 【改修工事】 - 老朽化した遊具や公園灯等の施設の改修工事 - 犬猫のフン害対策のための砂場改修工事 - 塗装・植栽工事 - その他改修工事				
経過					
必要性	老朽化した施設の改修を行ない、安全性、利便性、快適性の向上を図る必要がある。				
実施方法	（直営 <u>一部委託</u> 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は委託および請負工事による				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	予算額	28,852	41,055	64,852	95,584	159,095	58,043	33,782
	①決算額（18年度は見込み）	25,914	37,780	61,127	86,711	130,990	39,945	33,782
	②人件費						11,205	
	【事務分担量】（％）						130	
	合計（①＋②）	25,914	37,780	61,127	86,711	130,990	51,150	33,782
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）	21,000	24,000	43,000				
一般財源	4,914	13,780	18,127	86,711	130,990	51,150	33,782	
実績の推移	事項名	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
	工事監理委託					1	0	0
	工事件数	12	18	25	32	9	7	6
	調査委託件数					0	1	0

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	ナイター設備工事監理	1,523	調査委託	19,071		
	工事請負費	公園等改修工事	129,468	公園等改修工事	20,875	公園等改修工事	33,782

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値（22年度）	
①	入口段差等解消率（％）		71	71	71	80	段差解消済み公園数／公園数（35）
	② 水飲み（車椅子対応型）改修率（％）		60	63	63	70	車椅子対応型水飲み設置公園数／公園数（35）
	③						

問題点・課題	老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。
他区の実施状況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	公園の計画的な改修工事に取り組む。	公園等の安全性や利便性が着実に向上する。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	公園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	児童遊園新設拡充事業	部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
		担当者名	杉山	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	新設・拡充費（児童遊園新設改良費）（34-80-10-01）				
事務事業の種類	☐ 新規事業（ ☐ 19年度 ☐ 18年度） ☒ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業				
開始年度	☐ 昭和 ☒ 平成 14 年度	根拠法令等	荒川区立児童遊園条例		
終期設定	☐ 有 ☐ 無 年度				
実施基準	☒ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☐ 区独自基準		計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画	
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境			
	政策	快適な生活環境の整備			
	施策	豊かな生活環境づくり			
目的	身近な区域に児童のための安全な遊び場を適正に配置するとともに、生活環境の向上を図る。				
対象者等	小学校区を単位とした地域住民で、主に児童。				
内容	整備水準の低い地区で優先的に用地を取得し、児童遊園面積の拡充を図る。				
経過	平成2年3月「荒川区みどりの基本計画」において、一人あたり3㎡の目標や公園種別の整備目標を明確化し、整備を進めている。				
必要性	公園面積（公園＋児童遊園）は41.6haと増加したが、まだ少ない状況にあり、目標である54.0haを確保するために、児童遊園の整備・拡充に積極的に取り組まなければならない。				
実施方法	（直営 ☒ 部委託 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は請負工事による				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額			12,000	0	8,400	0	0
①決算額（18年度は見込み）			11,760		6,710	0	0
②人件費						862	
【事務分担当】（%）						10	
合計（①＋②）	0	0	11,760	0	6,710	862	0
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）			11,000				
一般財源	0	0	760	0	6,710	862	0
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
新設工事			1		1		

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費	南千住六丁目児童遊園新設工	6,710		0		0

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	公園・児童遊園面積（ha）		27.4	27.5	41.6	54.0	
	②						
	③						

問題点・課題	児童遊園面積は全体として不足しており、管理部との連携を強化して適地の取得を図る必要がある。					
他区の実施状況	（実施 22 区 未実施 区）					

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	平成19年度は1箇所（広場）施工予定。	児童の安全な遊び場が増えるとともに身近な居住環境の向上が期待できる。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	児童遊園の整備は、子育て支援策としても効果的な事業である。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	児童遊園改良事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土	
			担当者名	杉山	内線	2754	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	改良費（児童遊園新設改良費）（34-80-50-01）						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ○ 建設事業 ● それ以外の継続事業						
開始年度	● 昭和 ○ 平成 25 年度		根拠法令等	荒川区立児童遊園条例			
終期設定	○ 有 ● 無 年度						
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画 非計画			
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境					
	政策	快適な生活環境の整備					
	施策	豊かな生活環境づくり					
目的	段差解消、水飲みの改修等のバリアフリー化やその他の部分改修を行ない、児童遊園の安全性や快適性、利便性の向上を図る。						
対象者等	小学校区を単位とした地域住民で、主に児童						
内容	児童遊園の改修工事を行う。 【改良工事】 - 福祉の街づくり等に配慮した入口、車止め等の管理施設工事 - 緑陰等に配慮した植栽等の修景施設工事 - 利用年齢層に配慮した広場や遊戯施設工事 - その他水飲等の便益施設、ベンチ等の休養施設ほか、さまざまな施設工事 【改修工事】 - 老朽化した遊具や公園灯等の施設の改修工事 - 犬猫のフン害対策のための砂場改修工事 - 塗装・植栽工事 - その他改修工事						
経過							
必要性	老朽化した設備の更新やバリアフリー化を行ない、利用者の安全と利便性の向上する必要がある。						
実施方法	（直営 一部委託 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は請負工事による						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	24,394	14,969	12,320	14,065	11,686	11,686	7,686
①決算額（18年度は見込み）	22,499	14,147	5,726	13,322	7,990	9,912	7,686
②人件費						8,188	
【事務分担量】（%）						95	
合計（①+②）	22,499	14,147	5,726	13,322	7,990	18,100	7,686
国（特定財源）	6,914						
都（特定財源）	3,457						
その他（特定財源）	13,000	5,000					
一般財源	-872	9,147	5,726	13,322	7,990	18,100	7,686
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
工事件数	8	9	6		5	7	2

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	11(99)工事請	緊急改修工事	7,990	小規模改修工事外	9,912	小規模改修工事外	7,686

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明
			平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
標	①	入口段差等解消率（%）	70	72	74	80	段差解消済み児童遊園数／児童遊園数(69)
	②	水飲み（車椅子対応型）改修率（%）	60	62	65	70	車椅子対応型水飲み設置児童遊園数／児童遊園数(65)
	③						

問題点・課題	老朽化した設備については、計画的な改修により安全性や利便性を確保していかなければならない。
他区の状況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	段差解消等の改修工事の計画的な実施に取り組む。	安全性や快適性、利便性が向上する。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	児童遊園の安全性や快適性等の向上を図るうえで必要な事業である。

議会 （要旨） 質問状況	
--------------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	地域に根ざした公園づくり事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土	
			担当者名	杉山	内線	2 7 5 4	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	地域に根ざした公園づくり（34-85-50-01）						
事務事業の種類	☐ 新規事業（ ☐ 19年度 ☐ 18年度） ☒ 建設事業 ☐ それ以外の継続事業						
開始年度	☐ 昭和 ☒ 平成 5 年度		根拠法令等	都市公園法・荒川区立公園条例及び同条例施行規則 荒川区立児童遊園条例			
終期設定	☐ 有 ☒ 無 年度						
実施基準	☒ 法令基準内 都基準内 ☐ 区独自基準		計画区分	☒ 計画 ☐ 非計画			
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境					
	政策	快適な生活環境の整備					
	施策	豊かな生活環境づくり					
目的	住民参加方式により基本的な計画作りを行い、区民により親しまれ、利用しやすい魅力的な公園作りを進める。						
対象者等	主に地域住民						
内容	公園・児童遊園の大規模改修（改良）するにあたり、住民参加方式により基本的な計画作りを行い、直営で実施計画をし、工事を発注する。 【事業の流れ】 検討会内容 1. 地元町会等へ事業説明及び検討会開催の協力要請 2. 近隣住民アンケート調査 3. 公園検討会の開催（意見等の集約） 4. 最終計画案提示 改良工事内容 1. 検討会最終計画案に基づき実施計画・実施設計を行う。 2. 工事を請負工事で発注						
経過	【公園づくり事業の経過】 ☐ 昭和60～63年度：特色ある公園づくり事業（部分改修、地域でネットワーク化 計 13箇所整備） ☐ 平成元～5年度：特色ある公園づくり事業（全面改修、テーマ性を付加 計 15箇所整備） ☐ 平成6～：地域に根ざした公園づくり事業（全面改修、住民参加方式の計画づくり 計 13箇所整備） 【設計委託事業の経過】 ☐ 昭和60年度～平成6年度：検討会、鳥瞰図作成、実施設計を含めた設計委託 ☒ 平成7年度～平成9年度：事業の見直しによる検討会、鳥瞰図作成のみの設計委託（実施設計は直営） ☐ 平成10年度～：事業の見直しによる設計委託業務の休止						
必要性	区民に親しまれ、利用しやすい公園とするため住民参加による公園づくりが欠かせない。						
実施方法	（直営 ☒ 一部委託 全部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 施工は請負工事による						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	13,754	12,538	15,406	23,454	16,928	0	18,093
①決算額（18年度は見込み）	13,125	12,390	14,940	18,795	15,414	0	18,093
②人件費						431	
【事務分担量】（%）						5	
合計（①+②）	13,125	12,390	14,940	18,795	15,414	431	18,093
国（特定財源）							
都（特定財源）							
その他（特定財源）	13,000	12,000	14,000	18,000	16,000		18,000
一般財源	125	390	940	795	-586	431	93
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
整備工事件数	1	1	1	1	1	0	1

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	工事請負費	東尾久上児童遊園改良工事	15,414		0	町屋八丁目児童遊園改良工	18,093

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	改修累計（箇所）	28	28	29	33	平成60年度以降
②						
③						

問題点・課題	本事業による全面改修は、毎年1箇所程度の実施であり、公園・児童遊園の老朽化が進んでいる。
他区の実施状況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	事業計画を作成して改修を行う。	計画的な全面改修が実施できる。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
B	区民の意見を取り入れた利用しやすく魅力ある公園づくりは、重要な事業である。

議会（要旨）質問状況	
------------	--

事務事業分析シート

No1

事務事業名	グリーンスポット整備事業		部課名	土木部公園緑地課	課長名	松土
			担当者名	杉山	内線	2754
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（18年度）	グリーンスポット整備事業費（34-90-50-01）					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ● 建設事業 ○ それ以外の継続事業					
開始年度	○ 昭和 ● 平成		元年度	根拠		
終期設定	○ 有 ● 無		年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準			計画区分	（計画） 非計画	
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境				
	政策	快適な生活環境の整備				
	施策	豊かな生活環境づくり				
目的	公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る。					
対象者等	主に地域住民					
内容	公園、児童遊園よりも小規模な敷地をグリーンスポットとして整備し、街に花と緑があふれ、人々にゆとりを与える空間とする。設置場所については、防災生活圈促進事業や密集市街地整備促進事業地区に重点を置いている。					
経過	平成2年より整備を進めている。現在は、財源の確保が図れる防災生活圈促進事業や密集市街地整備促進事業と連携して推進している。 【平成 元年度】 町屋三丁目グリーンスポット設置 【平成 4年度】 千住間道グリーンスポット新設 【平成 5年度】 一本松グリーンスポット新設 【平成 12年度】 西尾久五丁目グリーンスポット新設 【平成 13年度】 西尾久六丁目グリーンスポット新設 【平成 17年度】 荒川六丁目西グリーンスポット新設 町屋四丁目グリーンスポット新設					
必要性	身近な居住環境を向上するために必要な事業である。					
実施方法	(直営 <u>一部委託</u> 全部委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) 施工は請負工事による					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	6,000	7,949			149,747	14,964	11,100
①決算額（18年度は見込み）	5,759	7,685			149,045	14,080	11,100
②人件費						9,050	
【事務分担量】（%）						105	
合計（①+②）	5,759	7,685	0	0	149,045	23,130	11,100
国（特定財源）		2,939			65,415	5,735	3,882
都（特定財源）	2,570				32,707	2,867	1,941
その他（特定財源）		5,000				6,000	5,000
一般財源	3,189	-254	0	0	50,923	8,528	277
実績の推移	事項名						
	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
新設箇所数	1	1			3	2	1

事務事業分析シート

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成16年度（決算）		平成17年度（決算）		平成18年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	役務費	収入印紙代	85				
	工事請負費			荒川六丁目西グリーン 町屋四丁目グリーン	6,534 8,430	荒川六丁目グリーン	11,100
	公有財産購入費	荒川六丁目グリーン	48,550				
		荒川六丁目西グリーン	26,392				
		町屋四丁目グリーン	74,018				

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (22年度)	
①	設置累計（箇所）	6	8	9	—	17年度に開発行為による提供公園あり（1カ所）
②						
③						

問題点・課題	公園・児童遊園を補完するため、管理部との連携を強化して適地の取得を図る必要がある。
他区の状況	（実施 22 区 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成19年度に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	管理部と連携をとって、新設を図る。	身近な居住環境が向上する。
②		
③		

事務事業の優先度	優先度についての説明・意見等
C	グリーンスポットは公園や児童遊園を補完するとともに、防災性の向上にも効果がある。

議会（要旨）質問状況	
------------	--